

ブラジル中央銀行、追加利上げ

インフレ抑制に向けて、政策金利を0.5%引き上げ11.75%に

HSBC投信株式会社

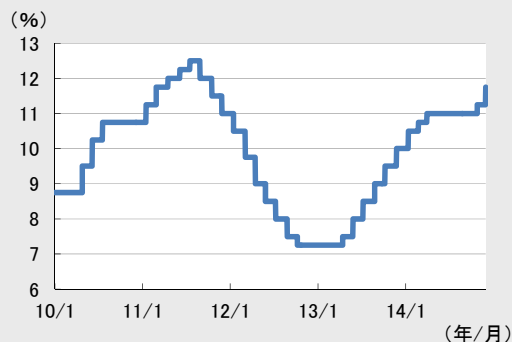
2014年12月4日

- ▶ ブラジル中央銀行は12月3日(水)、更なるインフレ抑制のため、政策金利を0.5%引き上げ11.75%に
- ▶ ブラジル政府は信頼回復を図る経済・金融政策を進め、2015年に計0.75%の追加利上げを当社では予想

利上げは「更なるインフレ抑制」のため

- ▶ ブラジル中央銀行は、12月2日(火)・3日(水)に開催された金融政策委員会で、政策金利(Selic)を0.5%引き上げ、11.75%としました(図表1参照)。前回10月28日・29日の同委員会でも利上げを実施しており、今回の利上げはジルマ大統領再選以降、2会合連続となります。引き上げ幅に関しては、市場は当初0.25%を予想していましたが、先週11月27日(木)に発表されたジルマ第2期政権の経済閣僚の顔ぶれ(後述)から、直近では0.5%の上げ幅が見込まれていました。

図表1 政策金利の推移
(2010年1月4日～2014年12月3日)



出所:ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

- ▶ 中央銀行は声明文で、金融政策のこれまでの効果を勘案、全会一致で今回の追加引き上げに至った、と述べています。
- ▶ ブラジルでは物価上昇圧力が高まっており、更なるインフレを抑制するため、今回の利上げに踏みきったものと考えられます。インフレ率は食品価格や通貨安による輸入物価の上昇から、拡大消費者物価指数(IPCA)は上昇傾向を辿り、10月は前年同月比+6.59%と9月の+6.75%をやや下回ったものの、中央銀行の目標レンジ(4.5%±2.0%)の上限を超えています。
- ▶ 3日(水)のブラジル金融市場では、利上げを受けて債券市場は軟調、為替市場は上昇しました。一方、株式市場はここ2日間で6%近く下落していたこともあり、反発しました(なお、利上げの発表は株式市場の引け後です)。(図表2参照)

図表2 12月3日のブラジル金融市場

| | | | 前日比騰落率 |
|----|----------|----------|-----------------|
| 株式 | ボベスバ指数 | 52,320.5 | +1.4% |
| 債券 | 4年物国債利回り | 12.31% | +0.01% (前日差) |
| 為替 | 対米ドル | 2.55レアル | +0.6% |
| | 対円 | 46.92円 | +1.1% |

出所:ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

新経済閣僚の下、ブラジル経済の信頼回復が見込まれる

- ▶ ブラジルでは、11月27日(木)に、ジルマ大統領第2期政権の財務大臣にレビ氏、企画・予算管理大臣にバルボザ氏の就任が発表されました。両氏は財務省などで豊富な経験を積んだ経済・財政の実務家であり、今後、両氏を中心に財政基盤の強化など経済・財政構造の調整に焦点を当て、経済の信頼回復を図ると考えます。また、両大臣人事に併せて発表された中銀総裁にはトンビニ氏の留任が、今週12月1日(月)には開発・工業・貿易大臣にモンテイロ上院議員の就任が決定しています。
- ▶ 当面、物価重視の金融政策が継続されると考え、中央銀行は2015年も計0.75%の利上げを実施し、2015年末の政策金利は12.5%になると当社は予想します。
- ▶ 株式市場は、短期的には回復すると見えています。経済閣僚に実務家が就任することに伴う、ブラジルの「低成長・高インフレ」状況の改善期待がプラス材料と考えます。債券市場は、当面金融引き締め策が継続されると考えるため、短期的にはやや慎重に見ています。一方、財政基盤の強化により財政収支は緩やかに改善すると当社は予想しており、これは中長期的な債券市場の支援材料になると考えます。レアル相場は当面現行水準付近(3日(水)終値ベース対米ドルで2.55レアル)で推移すると当社では見えています。

HSBC

Global Asset Management

留意点

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

| | |
|--------------------------|---|
| 購入時に直接ご負担いただく費用 | 購入時手数料 上限3.78%(税込) |
| 換金時に直接ご負担いただく費用 | 信託財産留保額 上限0.5% |
| 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 | 運用管理費用(信託報酬) 上限年2.16%(税込) |
| その他費用 | 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。 |

※上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp



電話番号 03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。